

# 長野県立美術館の概要と事業運営



# I 長野県立美術館の概要

## I 沿革

時 期	内 容
昭和41年10月1日	財団法人信濃美術館開館
昭和44年6月1日	同美術館を長野県に移管 長野県信濃美術館発足
昭和61年4月1日	管理運営を(財)長野県文化振興事業団に委託
平成2年4月26日	東山魁夷館開館
令和3年4月10日	長野県立美術館開館

## 2 施設の概要

単位：㎡

	本館	東山魁夷館	合計
(1) 敷地面積	—	—	16,363
(2) 建築面積	4,541	1,316	5,857
(3) 延床面積	11,324	1,933	13,257
(4) 展示室面積	1,669	549	2,218
(5) 収蔵庫面積	1,049	170	1,218
(6) 構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階		

## 3 運営方針

当館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」であるとともに、暮らしに文化のうるおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。

そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

## 4 収蔵作品

5,809点

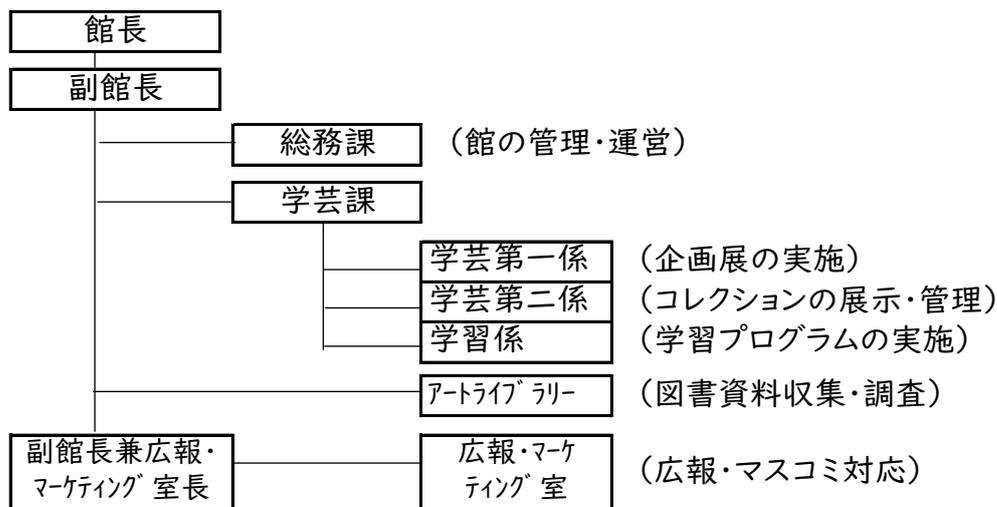
【内訳：本館コレクション4,828点 東山魁夷館 981点】

### コレクションポリシー

- 長野県出身又は長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）
- 美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
- 日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
- 近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群、及び美術資料群

## 5 組織体制

### (1) 組織及び主な業務



### (2) 職員体制

7.4.1現在

区分	正規職員	嘱託職員	派遣職員	臨時職員	合計
館長	1				1
副館長		1			1
副館長兼広報・マーケティング室長			1		1
次長兼総務課長		1			1
総務課	3	2		2	7
学芸課長			1		1
学芸第一係	3	2			5
学芸第二係	4	1			5
学習係	1	2			3
ライブラリー	1			3	4
広報・マーケティング室	2	1			3
計	15	10	2	5	32

## 6 施設利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (7.5.31現在)
常設展	97,665	96,653	88,385	11,727
企画展	238,863	117,422	69,807	54,415
交流展	1,084	814	876	
移動展	1,637	822	2,132	
学習交流	8,501	7,548	7,844	1,616
ライブラリー	12,597	9,795	9,119	2,354
貸館	24,696	27,860	23,380	186
無料ゾーン	504,774	334,494	329,918	100,757
合計	889,817	595,408	531,461	171,055

## II 事業運営

### 1 令和6年学芸事業実施状況

#### (1) 鑑賞事業

##### ○企画展

項目	内容	入館者 (人)	実施状況
企画展1	生誕150年池上秀畝	6,931	現在の長野県伊那市高遠町出身で、明治末から昭和戦前期にかけて日本画旧派の代表的画家として活躍した池上秀畝(1874-1944)の展覧会。花鳥画を得意とし、写生に基づく写実的な表現や新しい技法にも積極的に取り組んだ秀畝の代表作と、ライフワークとして取り組んだ写生などを多数展示し、画業の全体像を振り返った。特別展示として昭和天皇の婚礼祝いとして皇室に献上された《国之華》を展示し、存命当時の活躍ぶりを紹介した。本展は練馬区立美術館と共催し、これまであまり知られていなかった写生や制作記録など史料類の詳細な調査を行って、画業の細部を掘り起こし、研究の進んでいない近代日本画旧派の活動にも光を当てた。 担当：松浦千栄子、佐々木裕貴子
	5月25日～6月30日 展示室1・2・3		
企画展2	ダリ版画展—奇想のイメージ	25,885	シュルレアリスムを代表する画家として知られるサルバドール・ダリ(1904-1989)の版画作品を紹介する展覧会。ダリの名を聞いて一般的にイメージされるのは油彩作品であるが、実は版画制作についても深い造詣と愛好をもって取り組み、生涯に1600点以上もの作品を残したことはあまり知られていない。本展では、ダリの版画制作が最盛期をむかえた1960～70年代の作品を中心に約230点を出品し、「やわらかい時計」や「変形した肉体」といった特有のイメージや、作家の繊細な感性が発揮された細やかな描画が見られるものなど、多様な作品群を展覧した。さらに彫刻作品6点を加え、幅広い芸術分野に寄せられたダリの関心を示そうとした。 担当：茂原奈保子、池田淳史
	7月13日～9月16日 展示室1・2・3		
企画展3	京都 細見美術館の名品—琳派、若冲、ときめきの日本美術—	24,645	多彩な日本の美を国内外へ発信し続ける京都・細見美術館。昭和の実業家・細見良(初代古香庵)に始まる細見家三代が蒐集した名品の数々は、一貫した美意識によって形成され、日本美術史を総覧する幅広い年代とジャンルにわたり、内外から高い評価を受けている。本展では、上質なコレクションの中か

	10月5日～11月17日 展示室1・2・3		ら厳選された重要文化財 8 件を含む各時代や分野を象徴する名品 104 件を展観した。平安・鎌倉時代の仏教・神道美術、室町時代の水墨画や茶の湯釜、桃山から江戸にかけての茶陶や華麗な蒔絵、七宝と風俗画、さらに江戸時代絵画の中でも同館屈指のコレクションである日本美の象徴・琳派、天才絵師・伊藤若冲など、誰もが“心ときめく”美の空間へと誘う細見美術館ならではの至極の世界をご覧いただいた。 担当：上沢修、佐々木裕貴子
企画展 4	NAM コレクション 2024 特集展示 自然と人間／あいだの美術  11月30日～2025年1月13日 展示室2・3	5,709	当館コレクションには、信州の地に根差したからこそ見つめられた風景や、この地を訪れた画家の眼差しによって観察された風景など、さまざまな美術家によって見出された「自然」が描かれている。また、図案やイラストレーション、ことばを用いた作品など、従来の絵画作品の範囲にとどまらない、多様な表現や形態を用いた美術作品も含まれている。本展は、「自然と人間」「あいだの美術」の二部構成によって、普段展示する機会が少ない作品も交えて、NAM コレクションを特集した。第Ⅰ部では、近代日本美術における自然表現の断片を辿り、第Ⅱ部では作品と資料の「あいだ」に位置する近現代の芸術表現を紹介し、多様な表現に彩られた NAM コレクションを概観した 担当：古家満葉、堀千晶
企画展 5	信州から考える 絵画表現の50年展  2025年2月1日～4月6日 展示室1・2・3	7,005	本展は、第二次世界大戦が終結した1945年、戦後の荒廃と混乱の中、国土の復興と産業の再編が目指された時代から、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災が起き、新たな災害の時代の幕開けを印象付けた1995年までの50年間を対象に、草間彌生や辰野登恵子といった県ゆかりの作家の絵画作品に着目したものである。18作家による63点を一堂に会することにより、大戦という惨事の終わり、新たな災害の時代の幕開けに挟まれた半世紀に、絵画というメディアが社会と共に歩む様子や、時代に影響されながらも描くことをやめない作家の姿を紹介し、地方都市における戦後絵画史の一端を考察した。 担当：霜田英子、池田淳史

○コレクション展

項目	内容	回数 入館者	実施状況
常設展	本館コレクション展示室及び東山魁夷館展示室にて収蔵作品を継続的に紹介  本館		本館では、コレクションを5期に分けて展示した。今年度は各会期において、同時開催の展覧会との連動企画などを取り入れて展示を構成した。第Ⅲ期では、オープンギャラリー展示「公開制作 vol.4 原田裕規 ドリームスケープ」(会期：

<p>NAM コレクション 2024  第Ⅰ期 4月25日～7月16日  第Ⅱ期 7月18日～10月8日  第Ⅲ期 10月10日～12月17日  第Ⅳ期 12月19日～令和7年2月25日  第Ⅴ期 2月27日～5月6日</p> <p>展示室1  「《Dynamic Earth Series I》霧の彫刻 #47610」の記録映像の上映  12月29日～2025年1月9日</p>	<p>NAM 5回  91,930人</p> <p>霧の彫刻  328人</p>	<p>令和6年10月5日～令和7年3月16日)の連動企画として原田裕規をゲストキュレーターに迎え、「もうひとつの風景」というテーマでコレクションの中から信州の風景画と原田裕規の作品を紹介した。  また、展示室1において、中谷英二子による「《Dynamic Earth Series I》霧の彫刻 #47610」の今年度制作した記録映像を上映した。  東山魁夷館では、本制作36点を5期に分け、かつ、習作・スケッチなどを季節やテーマに合わせて紹介し、当館の特色あるコレクションを最大限活用した展示内容とした。</p>
	<p>東山魁夷館</p> <p>第Ⅰ期 4月11日～6月18日  第Ⅱ期 6月20日～9月3日  第Ⅲ期 9月5日～11月12日  第Ⅳ期 11月14日～令和7年2月4日  第Ⅴ期 2月6日～4月29日</p>	

○移動展・交流展

項目	内容	入館者(人)	実施状況
移動展	<p>県立美術館から距離がある遠隔地域において、県民が県収蔵の美術作品を鑑賞する機会を提供するため、年間2ヶ所程度を目処に「移動展」を開催</p>	<p>伊那 1,204  飯山 928</p>	<p>会場は「長野県伊那文化会館」と、公募によって決定した「南牧村美術民俗資料館」の2ヶ所で開催。伊那文化会館は県南部の拠点と位置づけ、今年度は生誕150年を迎えた池上秀敏と菱田春草を中心に、南信出身の日本画家の作品を紹介した。飯山市美術館では、長谷川青澄、浦野吉人ら飯山ゆかりの作家や池田満寿夫や草間彌生といった信州を代表する作家、更には新築オープン後にコレクションに加わった新収蔵品などから当館のコレクションを紹介する展示を行った。  担当：鈴木幸野、松井正</p>
	<p>10月19日～11月17日  長野県伊那文化会館</p>		
	<p>9月28日～10月13日  飯山市美術館</p>		
交流展	<p>県内地域の美術活動の中核となる美術館と共催し、長野県立美術館所蔵の名品展を開催</p> <p>2025年2月1日～3月23日  諏訪市美術館</p>	876	<p>諏訪市美術館と共同開催となる本展では、両館のコレクションから諏訪湖や製糸業などの諏訪地域を描いた作品や、諏訪地域にゆかりのある作家の作品を中心に紹介した。  担当：堀 千晶</p>

○オープンギャラリー・アートラボ

項目	内容・対象者	入館者回数	実施状況
オープンギャラリー	<p>2024年度オープンギャラリー「山の画家 足立源一郎」</p>	5,450人	<p>当館所蔵作家の足立源一郎の山岳スケッチや愛用した登山道具を近隣の美術館から借用・展示し、山岳画家の姿とともに登山家としての足立の姿を紹介しながら、作家周知の機会とした。またギャラリートークを2回実施。  7月20日～9月24日  担当：佐々木裕貴子</p>

	公開制作 vol.4 原田裕規 ドリームスケープ 公開制作：作家が一定期間オープンギャラリーに通い、作品を制作し、完成作品を公開する	8,948人	アーティストの原田裕規氏を招聘し、約5か月にわたるリサーチやインタビュー、作品制作ならびに制作した作品の発表を行った。また作家と来館者が対話したり、館外を散策したりするイベントを行い、作家と観客が交流する機会を設けた。 10月5日～2025年3月16日 担当：山下樹里
アートラボ	第Ⅰ期 西村陽平 死者の書	2,516人	視覚以外の感覚を使った鑑賞が可能な「アートラボ」にて西村陽平を紹介する展覧会を開催した。 5月18日～7月21日 担当：柄澤初音
	第Ⅰ期 関連イベント	21人 1回	西村陽平を招へいし、作家によるワークショップを実施した。 6月30日
	第Ⅱ期 富長敦也 石の見る夢	8,335人	視覚以外の感覚を使った鑑賞が可能な「アートラボ」にて富長敦也を紹介する展覧会を開催した。 7月27日～10月27日 担当：青山由貴枝
	第Ⅱ期 関連イベント	357人 3回	富長敦也を招へいし、作家によるワークショップとアートラボでの作品鑑賞会を実施した。 (1)8月10日～12日 (2)9月22日 (3)10月20日
	第Ⅲ期 ひらくツール ふれるはなすあるく 齋藤名穂×長野県立美術館	2,237人	視覚以外の感覚を使った鑑賞が可能な「アートラボ」にてひらくツールと齋藤名穂を紹介する展覧会を実施した。 11月2日～令和7年1月19日 担当：青山由貴枝
	第Ⅲ期 関連イベント	57人 2回	齋藤名穂を招へいし、作家による作品鑑賞会を実施した。 (1)11月2日 (2)令和7年1月12日
	第Ⅳ期 光島貴之 でこ・ぼこ・ながの	4,474人	視覚以外の感覚を使った鑑賞が可能な「アートラボ」にて金箱淳一を紹介する展覧会を実施した。 令和7年1月25日～4月13日 担当：柄澤初音
	第Ⅳ期 関連イベント	115人 1回	光島貴之を招へいし、作家による公開制作を実施した。 令和7年2月17日～18日

## (2) 学習事業

項目	内容・対象者	回数	参加者	実施状況
スクールプログラム (学校団体見学受入れ)	学校団体見学受入れプログラム等、学校教育施設を対象とした各プログラムの実施	89校	3,621人	館内での自由鑑賞ツアーを実施し、特別支援学校にはオリジナルプログラムを行い、学校団体見学を受け入れた。
出張講座	院内学級・特別支援学校を対象とした出張講座の実施	12回	267人	院内学級・特別支援学校を対象とした出張講座を実施した。

学校教職員の 研修会等		4回	186人	教員向け鑑賞講座の実施と県内研修会での依頼協力に対応した。
鑑賞教材貸出		35件	—	「長野版アートゲーム」の貸出対応を随時実施した。
アート・コミュニケー タ（AC）	美術館を拠点 に、人とアートの つなぎ手として自 発的に活動する、ア ート・コミュニケー タを運営	30回	198人	美術館主催プログラムに参加し、プログラムの運営をおこなった。
		21回	170人	アート・コミュニケーター自身が自主的に企画するプログラムを開催した。 （ACラボ、ACゼミ）
		6回	160人	アート・コミュニケーター4期生として採用された26人を対象とした基礎講座を実施。
鑑賞プログラム	こどもアート ラボ	12回	1,656人	子どもから大人までを対象に、ねんど・絵の具・紙などを素材に、遊びを通したさまざまな造形体験を実施。コレクションや展覧会をテーマとし、身近にアートを感じる機会とした。
	おやこでトー ク	3回	11人	展示室にて小学生以下とその保護者を対象とした対話型鑑賞を実施。
	おとなもトー ク	6回	28人	展示室にて中学生以上を対象とした対話型鑑賞を実施。

### （3）交流事業

項目	内容	回数	参加者	実施状況
県内美術館との 交流・協働事業	善光寺平アートライン 事務局業務	1回	—	善光寺平周辺に位置する美術館・博物館で構成された善光寺平アートライン推進協議会の事務局を担当し、マップ更新等を実施した。
地域と連携した イベント	善光寺びんずる市	8回	—	善光寺境内、城山公園を会場とした市民参画の手作り市を実行委員として協力実施した。 4月～12月の第2土曜日開催
	城山小学校アートクラ ブ	5回	105人	城山小学校でのクラブ活動を美術館内で実施した。展示室での鑑賞やワークショップを通して、美術館への愛着や関心を深めた。
	地域施設や県内美術館 等への連携・出張講座 講師協力	2回	26人	北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局スタッフを対象にした鑑賞講座・実践、諏訪市公民館・諏訪市美術館での長野版アートゲーム・対話型鑑賞についての講演・実践への講師協力をした。
県内大学等との 連携事業	信州大学との連携事業	4回	172人	信州大学教育学部学生を対象に、美術館紹介や、対話型鑑賞に関する講座を実施し、学生による館内での鑑賞プログラムの企画運営をおこなった。

障がいのある方のための特別鑑賞日	障がいのある方を対象に、休館日に開館する特別鑑賞日	2回	235人	障がいのある方が展覧会を安心して鑑賞できるよう、休館日に開館する特別鑑賞日を開催した。展覧会鑑賞のほか、体験コーナーの設置や学芸員によるギャラリートークをおこなった。
	インクルーシブ研修会	2回	50人	障がいのある方のための特別鑑賞日開催に向けて、館内職員を対象とした研修会を開催した。障がいの種別や法律、条例などについて学ぶことができた。
インクルーシブ事業	トークフリーデー	12回	—	声の大きさを気にせずに、作品をみて感じたことを話しながら作品鑑賞を楽しむことができる1日を設定した。※参加者は入館者数に準ずる
	その他インクルーシブイベント	2回	43人	障がいの有無を問わず、感覚をつかった鑑賞や体験を中心としたイベントを開催した。
	Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ	3回	626人	彫刻家・富長敦也によるプロジェクト。美術館地下より掘り出された3つの巨石を来館者ととともに磨くワークショップを開催した。

#### (4) 調査研究事業

項目	内容	実施状況
収蔵作品	収蔵美術資料に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館所蔵品、東山館収蔵品および県ゆかりの作家・作品の調査研究を行い、『研究紀要第19号』としてまとめた。</li> <li>○池上秀敏「匣書手扣」(信州高遠美術館蔵)について</li> <li>○松澤有の現代芸術資料センター(DDCA)構想と「オトシマエ」</li> </ul>
保存修復	収蔵作品の修復及び、美術資料保存修復に関する研修会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国美術館会議保存研究部会の研修会に参加</li> <li>博物館・美術館等保存担当学芸員研修(基礎コース)に参加</li> <li>文化庁「文化財(美術工芸品)保存修理講習会」に参加</li> </ul>
展覧会企画	次年度以降の展覧会企画の調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降の展覧会企画のための調査研究を実施。</li> <li>令和7年度「いきものの森展」、「東山魁夷館開館35周年記念展」、「北島敬三写真展」展</li> <li>外部助成金により、海外国際展を視察調査。</li> <li>ヴェネツィア・ビエンナーレ、リオン・ビエンナーレ</li> <li>アート・バーゼル(パリ)</li> </ul>
美術情報	広く美術情報の収集	<p>展示や、教育普及活動・保存・レファレンス(相談調査業務)などの活動に反映させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『研究紀要』で1年間の研究実績を報告した。</li> </ul>

#### ○著作権の取扱い

項目	状況
著作権の取扱い	当館所蔵作品の画像貸出に係る「長野県立美術館資料取扱要綱」に基づいた取扱いを行った。
職員等への指導	要綱を再確認し、著作権保護に関する注意喚起をした。

(5) 収集・保管事業

○収集補助

項目		実施状況
購入候補作品の提案	6件	<p>県の収集方針に合致する美術資料について県に購入提案を行い、作品購入の補助業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堀内袈裟雄《泉の極智象A》《泉の極智象B》《泉の極智象C》</li> <li>楠本正明《Requiem/L. T, K. T,》</li> <li>富長敦也《Sphere》</li> <li>藤井光《日本の戦争美術 1946》</li> </ul>
寄贈作品の調査、手続きへの協力	74件	<p>寄贈希望者から依頼があった作品を調査して手続きに協力し、作品寄贈の補助業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池田満寿夫</li> <li>東山魁夷</li> <li>児玉果亭</li> <li>池上秀敏</li> <li>堀内袈裟雄</li> <li>楠本正明</li> <li>宮坂了作</li> <li>笠木實</li> <li>山崎豊三</li> <li>沓掛利通</li> <li>松林桂月</li> </ul>

○保管

項目	内容	回数	実施状況
空調等保管	温湿度管理	常時	展示室及び収蔵庫等に設置したデータロガー（デジタル温湿度計）を使い、5分ごとに温湿度を記録。月末に記録したデータをパソコンに転送して状況を解析した。
虫菌害対策	環境整備	1回	展示室及び収蔵庫等において、虫菌害調査（各2週間程度）1回を実施した。
美術品の保管	資料の補修	2回	当館収蔵品（《朝明けの潮大下図》）の額装化や額装を修繕した。
美術品の現物照合	作品の検品	随時	コレクション展、移動展、交流展で作品の検品を実施した。

○貸出

項目	内容	回数	実施状況
貸出	資料の貸出業務	7回	日本画6点、洋画8点、水彩・素描26点、彫刻2点、工芸3点
閲覧	資料の閲覧業務	2回	日本画（菱田春草）、デザイン資料（杉浦非水）
利用	資料の利用希望対応業務	36回	<p>掲載・貸与（ポジフィルム及びデジタルデータ）：36件</p> <p>掲載許可：8件</p> <p>複製：0件</p> <p>撮影：0件</p>

## 2 令和7年度学芸事業計画

### (1)「鑑賞」に関する業務

項目	内容	実施計画
企画展 1	鈴木敏夫とジブリ展 4月25日(金)～6月29日(日) 展示室1・2・3 (共催:テレビ信州、信濃毎日新聞社) [平日] 一般1,600円、中高生1,300円、小学生800円 [土日祝] 一般1,800円、中高生1,500円、小学生1,000円	高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリのプロデューサー・鈴木敏夫。時代を駆け続けるなかで出会った多くの映画作品・書籍と、それを通して見えてくる時代背景に注目します。
企画展 2	いきものの森 7月19日(土)～9月15日(月・祝) 展示室1・2・3 一般1,000円、大学生・75歳以上800円、高校生以下又は18歳未満無料	わたしたちの周りには、人間や動物、植物など、たくさんの「いきもの」であふれています。本展では、大曾根俊輔・岡江真一郎・田中彰・富岡奈津江・富田菜摘・ミロコマチコによる、立体、イラスト、アニメーションなど、様々な方法で表現された「いきもの」たちが登場します。いきものの森に入り、いきものが住む世界を探検してみましよう。
企画展 3	東山魁夷館開館35周年記念展 東山魁夷 永遠の海 私は、いま、波の音を聴いている 10月4日(土)～11月16日(日) 展示室1・2・3 ※展示替えあり (共催:信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団、SBC信越放送) 一般1,700円、大学生1,300円、高校生以下又は18歳未満無料	2025年に東山魁夷館は開館35周年を迎えます。本展では、唐招提寺御影堂障壁画と並ぶ東山魁夷の代表作《朝明けの潮》の大下図を初公開します。東山魁夷が手掛けた皇居壁画《朝明けの潮》の制作過程や東山魁夷が描いた日本の風景を紹介します。
企画展 4	Keizo Kitajima : A Retrospective 11月29日(土)～2026年1月18日(日) 展示室1・2・3 一般1,000円、大学生・75歳以上800円、高校生以下又は18歳未満無料	須崎市出身の写真家・北島敬三(1954-)。本展では、キャリア初期の「東京」「沖縄」「ニューヨーク」「東欧」「旧ソ連」などのスナップショットから、近年の「Portraits」「Untitled Records」までを網羅するとともに、北島が主宰するギャラリーでの活動や、重要な作品発表の場として機能した雑誌などの関連資料をも取り上げながら、写真をめぐる作家の実践をご紹介します。

<p>企画展 5</p>	<p>トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～</p> <p>2026年2月7日(土)～ 4月12日(日)</p> <p>展示室1・2・3 (共催：abn長野朝日放送)</p> <p>一般1,800円、中高生1,100円、小学生700円</p>	<p>ムーミンの生みの親で、多方面に才能を発揮したアーティスト、トーベ・ヤンソン(1914-2001)。初期の油絵、第二次世界大戦前後の風刺画、ムーミン小説・コミックスの原画やスケッチ、そして愛用品など約300点を通して、トーベの創作の世界と、人生が色濃く反映されたムーミンシリーズの魅力に迫ります。</p>
<p>常設展</p>	<p>本館コレクション展示室及び東山魁夷館展示室にて収蔵作品を継続的に紹介</p> <p>本館・東山館共通 一般700円、大学生・75歳以上500円 ※10月以降は県内の大学生等 無料</p> <p>本館コレクション展示室</p> <p>① NAM コレクション 2025 第Ⅰ期 5月8日～7月28日</p> <p>② NAM コレクション 2025 第Ⅱ期 コレクション・プラス 8月2日～10月7日</p> <p>③ NAM コレクション 2025 第Ⅲ期 10月11日～12月9日</p> <p>④ NAM コレクション 2025 第Ⅳ期 12月11日～2026年2月24日</p> <p>⑤ NAM コレクション 2024 第Ⅴ期 2026年3月13日～5月19日</p> <p>東山魁夷館</p> <p>① コレクション展第Ⅰ期 5月1日～7月21日</p> <p>② コレクション展第Ⅱ期 7月25日～10月14日</p> <p>③ コレクション展第Ⅲ期 10月16日～12月16日</p> <p>④ コレクション展第Ⅳ期 12月18日～2026年2月16日</p> <p>⑤ コレクション展第Ⅴ期 2026年2月20日～5月12日</p>	<p>本館では洋画・日本画・工芸など様々なジャンルの所蔵品を5期に分けて展示します。</p> <p>第Ⅱ期では、京都国立美術館所蔵のマルセル・デュシャン作品を借用し、松澤宥のオブジェ作品を並置することにより、オブジェをめぐる諸相を探る。</p> <p>※「コレクション・プラス」 全国の美術館コレクションに国立美術館の所蔵作品を加えることで、より高いテーマ性をもつ小特集展示を両館協働のもと実施する、国立美術館と国立アトリサーチセンターによる事業。</p> <p>東山魁夷館では東山魁夷の本制作36点を5期に分け、かつ、習作・スケッチなど当館の特色あるコレクションを最大限活用した展示内容とする。</p>

<p>移動展</p>	<p>県立美術館から距離がある遠隔地域において、県民が県収蔵の美術作品を鑑賞する機会を提供するため、年間2ヶ所程度を目処に「移動展」を開催</p> <p>10月18日（土）～ 11月10日（月） アンフォルメル中川村美術館</p> <p>10月25日（土）～ 11月16日（日） 長野県伊那文化会館</p>	<p>会場は伊那文化会館と、公募によって決定した「アンフォルメル中川村美術館」（中川村）の2ヶ所で開催する。</p> <p>南信地域の中川村で開催する。アンフォルメル中川村美術館の特徴にあわせて、長野県にゆかりのある現代美術のすぐれた作品を紹介する。</p> <p>県伊那文化会館を芸術文化振興の県南部の拠点と位置づけ、毎年、本館コレクション展のⅠ期分と同じ内容の展示を行う。令和7年度は、NAMコレクション2025第Ⅰ期の出品作を中心に紹介する。</p>
<p>交流展</p>	<p>県内地域の美術活動の中核となる美術館と共催し、両館の所蔵作品を組み合わせた展覧会を開催</p> <p>11月1日（土）～ 12月10日（水） 北アルプス展望美術館（池田町）</p>	<p>令和7年度は北アルプス展望美術館（池田町）と協働して展覧会を開催する。</p> <p>共催館の特色を打ち出し、地縁ある作家の作品を中心に展示することにより、地域の魅力を再発見する機会とするとともに、県内美術のさらなる振興とその展開の可能性を探る。</p> <p>また、各館の学芸員同士が交流することにより、県内美術館の連携を深めることを目指す。</p>

○オープンギャラリー・アートラボ

項目	内容	実施計画
<p>オープンギャラリー</p>	<p>公開制作 作家が一定期間オープンギャラリーに通い、作品を制作し、その制作過程を公開する。</p>	<p>各地で採集した自然物や、映像などを用いて、時の経過と共に失われるものへ眼差しを向けた制作を手掛ける古橋まどかを招へいし、県内や美術館周辺の地誌、歴史を対象にした調査・制作の様子を公開する。また、会期中に複数回のイベントも開催する。</p> <p>6月28日（土）～9月28日（日）</p>
	<p>企画展関連展示 「Keizo Kitajima : A Retrospective」</p>	<p>「Keizo Kitajima: A Retrospective」のスピノフ展示として、企画展とは異なる視点から写真家・北島敬三の活動をご紹介します。</p> <p>11月29日（土）～2026年1月18日（日）</p>
<p>アートラボ</p>	<p>視覚以外の感覚もつかった作品鑑賞を目的とした展示室、アートラボの運営および展覧会の企画運営</p>	<p>4月19日～7月6日 第Ⅰ期 中ハシクシゲ展 7月12日～10月5日 第Ⅱ期 金箱淳一展 10月11日～令和8年1月12日 第Ⅲ期 西村陽平展 1月17日～4月12日 第Ⅳ期 富長敦也展</p>

(2) 「学び」に関する業務

項目	内容	回数	実施計画
スクールプログラム	学校団体見学受入れプログラム等、学校教育施設（県内小～高校）を対象とした各プログラムの実施	随時	館内での自由鑑賞ツアーの実施。教員向け鑑賞講座の実施と依頼協力。鑑賞教材の貸出。院内学級・特別支援学校を対象とした出張講座。ワークシート・ジュニアガイドの配布。博物館実習や職場体験の受け入れも随時行う。
アート・コミュニケータ（AC）	美術館を拠点に、アートから生れるコミュニケーションを大切にしながら、人とアートのつなぎ手として自発的に活動する、アート・コミュニケータを募集し運営	5期生募集 基礎講座6回 自主企画等随時	令和7年度は5期生（20名程度）を募集する。2期生（29名）、3期生（25名）、4期生（26名）は、美術館での各プログラムへ参加しながら、ACから美術館を活用するアイデアや企画を募り実施・実現を目指す。
こどもアートラボ	子どもたちが描いたりつくったりすることを楽しみながら、自分の目で見て、手で触れ、自分でやってみようという気持ちを育むことを目的としたプログラムを毎月実施	12回程度	子どもから大人までを対象に、ねんど・絵の具・紙などを素材に、遊びを通したさまざまな造形体験を実施。コレクションや展覧会をテーマとし、身近にアートを感じる機会とする。
鑑賞プログラム	対話型鑑賞による鑑賞プログラムとして「びじゅつかん探検隊」を隔月実施（同日開催）	12回程度	開催中の企画展、コレクション展、東山魁夷館などの展示会場にて、①小学生以下の子どもとその保護者を対象に対話型鑑賞を実施する「こども探検隊」と、②中学生以上の大人を対象に実施する「おとな探検隊」を開催する。
Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ	彫刻家・富長敦也によるプロジェクト。旧信濃美術館地下より掘り出された3つの巨石を来館者とともに磨くプログラムを実施	3日程度	5月にワークショップ形式で、来館者とともに石を磨く。 参加費無料、事前申込み不要（当日整理券制）

(3) 「交流」に関する業務

項目	内容	回数	実施計画
公開制作 (再掲)	作家が一定期間オープンギャラリーに通い、作品を制作し、その制作過程を公開する。	1回	各地で採集した自然物や、映像などを用いて、時の経過と共に失われるものへ眼差しを向けた制作を手掛ける古橋まどかを招へいし、県内や美術館周辺の地誌、歴史を対象にした調査・制作の様子を公開する。また、会期中に複数回のイベントも開催する。 6月28日（土）～9月28日（日）

企画展関連展示 (再掲)	企画展関連展示 「Keizo Kitajima : A Retrospective」	1回	「Keizo Kitajima: A Retrospective」のスピノフ展示として、企画展とは異なる視点から写真家・北島敬三の活動をご紹介します。 11月29日～令和8年1月18日
県内美術館との 交流・協働事業	善光寺平アートライン事務局 業務	随時	善光寺平周辺に位置する美術館・博物館で構成された善光寺平アートライン推進協議会の事務局を担当し、研修会等を実施
近隣大学等との 連携事業	近隣大学等との連携事業	随時	県立美術館近隣の大学や専門学校等と連携した事業を実施
地域と連携した イベント	地域イベントとの連携	随時	善光寺境内を会場として実施する市民参画の手作り市と連携した事業を展開
障がいのある方 のための特別鑑賞日	障がいのある方を対象に、休館日に開館する特別鑑賞日を実施	2回	障がいのある方が安全に展覧会を鑑賞できる特別開館日。令和7年度は6月と10月に2回開催。また、特別鑑賞日開催に併せ、館内スタッフ向けのスキルアップ研修を実施予定

### 3 令和6年度貸館事業実施状況

#### (1) しなのギャラリー展覧会

No.	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	春色花の詩 長野県華道教育会 長野支部 2024華道展	長野県華道教育会 長野支部	4/12-4/15	4	0	1,488	1,488
2	八幡屋礒五郎 七味缶 百周年記念展 「七味缶」食卓であゆんだ100年	(株)八幡屋礒五郎	4/26-5/6	10	0	4,926	4,926
3	絵が立体になる紙アート シャドーボックス 「シャドーボックス・ラ・マーニ作品展」原作者：藤岡牧夫	シャドーボックス・ラ・マーニ	5/23-5/28	6	0	781	781
4	第10回山田「洋子水彩画&まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	5/31-6/4	5	0	720	720
5	第75回北信美術展	北信美術会	6/20-6/25	6	0	2,483	2,483
6	プリザーブド&アートフラワーの世界カラコレス研究生グループ展 2024	カラコレス・プリザーブド&アートフラスクール	6/28-7/2	5	0	173	173
7	山下貞治絵画展	山下貞治	7/12-7/23	11	0	458	458
8	第43回長野県工芸展	長野県工芸会	8/30-9/3	5	0	583	583
9	小田切八景切り絵展	小田切地区住民自治協議会	9/13-9/17	5	0	327	327
10	第1回明扇書藝會展覧会	明扇書藝會	10/11-10/14	4	0	453	453
11	己書 龍眼道場作品展	己書 龍眼道場	10/17-10/22	6	0	584	584
12	西陣美術織 伊藤若冲展	西陣美術織全国巡回展実行委員会	10/18-10/22	5	0	440	440
13	令和6年度 第40回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/25-10/27	3	0	305	305
14	第65回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/1-11/4	4	0	765	765
15	第57回「ふれあい展」長野上水内特別支援学級・特別支援学校 児童生徒作品展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/15-11/18	4	0	2,202	2,202
16	第11回アール・パレ 長野アール・パレ展	アール・パレ実行委員会	11/22-11/26	5	0	100	100
17	上高田保育園絵画展	上高田保育園	12/15-12/22	7	0	141	141
18	令和6年度 山の洲文化財交流事業 高木こずえ《琵琶島》×原始美術工芸品のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/4-1/19	14	0	859	859
19	第75回長野県児童生徒美術展／第40回長水中学校美術部合同展／令和6年度長野上水内教育会図工美術展／第34回北信ブロック展	長野県美術教育研究会長水支部	1/25-1/28	4	0	1,759	1,759
20	令和6年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 卒業記念展覧会	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/6-2/11	6	0	278	278
21	令和6年度 和洋女子大学 日本文学文化学科 書道専攻卒業書道作品展 第50回「雁鴻会書作展」白井亜弥書作展	和洋女子大学 書道準備室 白井亜弥	2/23-2/25	3	0	147	147
22	第52回日本の書展	信濃毎日新聞社 事業局 事業部	3/7-3/10	4	1,619	0	1,619
23	第54回新構造長野県展	一般社団法人 新構造社長長野県支部	3/21-3/25	5	0	380	380
	計			131	1,619	20,352	21,971

## (2) ホールにおけるイベント

	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	北アルプス国際芸術祭2024 開幕100日前イベント	北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局	6/1	1		100	100
2	八幡屋礒五郎 七味缶 百周年記念展「七味缶」食卓であゆんだ100年	(株)八幡屋礒五郎	4/26-5/6	9	ギャラリーと併用		
3	第75回北信美術展	北信美術会	6/20-6/25	6	ギャラリーと併用		
4	長水高等学校図書館協議会 生徒図書委員交流会	長水高等学校図書館協議会 長野商業高等学校	8/8	1		36	36
5	デジタルカメラ体験イベント Hello GFX 2024 NAGANO	富士フイルムイメージングシステムズ(株)	9/28-9/29	2		190	190
6	令和6年度 第40回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/25-10/27	3	ギャラリーと併用		
7	第65回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/1-11/4	4	ギャラリーと併用		
8	第57回「ふれあい展」長野上水内特別支援学級・特別支援学校 児童生徒作品展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/15-11/18	4	ギャラリーと併用		
9	アール・パレ展 シンポジウム〈日本人に愛される東山魁夷と萩原碌山の魅力と美術品の保護について〉	アール・パレ実行委員会	11/22	1		10	10
10	令和6年度 山の洲文化財交流事業 高木こずえ〈琵琶島〉×原始美術工芸品のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。【ワークショップ】「縄文スタンプでいろいろ作ろう」「こうこがく、考古楽ー体験して学ぶ考古学ー」	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/13	1		126	126
11	令和6年度 山の洲文化財交流事業 高木こずえ〈琵琶島〉×原始美術工芸品のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。考古学者×有識者×アーティストによるトークセッション「いにしえの人と心」	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/18	1		82	82
12	2025日台国際芸術文化交流展	藝荃文化國際有限公司	2/6-2/7	2		32	32
13	R6年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 「卒業研究発表会」	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/9	1		58	58
14	灯明スポーツファンフェスタ	第二十二回長野灯明まつり実行委員会事務局	2/11	1		230	230
15	文化芸術×防災 災害時の文化施設を思案する	一般財団法人長野県文化振興事業団	2/14	1		60	60
16	さとのば大学卒業式&ミニフォーラム	NPO法人 学び3.0	3/1	1		46	46
17	第52回日本の書展	信濃毎日新聞社 事業局 事業部	3/7-3/10	4	ギャラリーと併用		
18	NAGA KNOCK! 最終報告会	NPO法人ETIC.	3/15	1		39	39
19	あーとdeだいぼうけん!	あーとdeらぼ	3/29	1	400		400
	計			37	400	1,009	1,409

#### 4 令和7年度貸館事業実施計画（R7.5.31現在）

##### (1) しなのギャラリー展覧会

No.	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	第11回山田「洋子水彩画 & まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	5/30-6/3	5	0	467	467
2	2025年 第2回信州国際現代芸術交流展	一般社団法人 信州国際芸術区	6/6-6/10	5	0	0	0
3	第76回 北信美術展	北信美術会	6/19-6/24	6	0	0	0
4	プリザーブド&アートフラワーの世界 カラコレス研究生グループ展 2025	カラコレス・プリザーブド&アートフラワースクール	6/27-7/1	5	0	0	0
5	上高田保育園絵画展 ～ヒトから人間になる～	上高田保育園	8/3-8/10	7	0	0	0
6	第44回 長野県工芸展	長野県工芸会	8/29-9/2	5	0	0	0
7	令和7年度第41回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/24-10/26	3	0	0	0
8	第66回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/7-11/10	4	0	0	0
9	第58回 ふれあい展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/15-11/18	4	0	0	0
10	第11回アール・パレ展 最優秀賞受賞記念 山添洋展	アール・パレ実行委員会	11/28-12/2	5	0	0	0
11	写真と絵画で見る苗場山麓ジオパークの魅力展（仮）	苗場山麓ジオパーク振興協議会	12/6-12/15	9	0	0	0
12	長野県児童生徒美術展・長野上水内函工美術展・北信ブロック展・長野上水内美術部合同展	長野県美術教育研究会長水支部	1/24-1/26	3	0	0	0
13	信州エコポスターコンクール2025展覧会	信州豊かな環境づくり県民会議（長野県環境部）	1/29-2/3	6	0	0	0
14	令和7年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 卒業記念展覧会（仮）	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/5-2/10	6	0	0	0
15	第53回 日本の書展	信濃毎日新聞社 事業局 事業部	3/6-3/9	4	0	0	0
16	第55回 新構造長野県展	一般社団法人 新構造社長野県支部	3/20-3/24	5	0	0	0
	計			82	0	467	467

##### (2) ホールにおけるイベント

No.	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	第76回 北信美術展	北信美術会	6/19-6/24	6	ギャラリーと併用		
2	WE-Nagano Global Conference2024	公立大学法人 長野県立大学	7/18	1	0	0	0
3	『平和を紡ぐ善の鳩』ワークショップ「みんなで極楽浄土を作ろう！」	善光寺事務局	7/27	1	0	0	0
4	令和7年度第41回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/24-10/26	3	ギャラリーと併用		
5	第66回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/7-11/10	4	ギャラリーと併用		
6	第58回 ふれあい展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/15-11/18	4	ギャラリーと併用		
7	令和7年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 卒業記念展覧会（仮）	長野県美術教育研究会長水支部	1/24-1/26	3	ギャラリーと併用		
8	卒業研究発表会	信州大学教育学部図画工作・美術教育コース	2/8	1	0	0	0
9	第53回 日本の書展	信濃毎日新聞社 事業局 事業部	3/6-3/9	4	ギャラリーと併用		
	計			27	0	0	0

## 5 令和6年度 広報・マーケティング室 事業実施状況

### 1. ホームページ・SNSの運用

HPアクセス数・SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォロワー数	X(Twitter) フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTube チャンネル登録者 数
令和5 (2023) 年度	1,644,200	2,121	3,090	4,501	793
令和6 (2024) 年度	1,590,389	2,189	3,615	5,782	933

取材対応件数 295件

新聞	テレビラジオ	雑誌・会報誌	Web SNS
99	34	71	73

プレスリリース配信数：47件

### 2. 展覧会広報

○館内レストランと共同で企画展に

連動したコラボメニューを企画

・ダリ版画展 コラボランチ

スペイン出身作家ダリにちなんだメニュー

・細見展 和のコラボスイーツ



ダリ展コラボランチ



細見展コラボスイーツ (ほうじ茶ケーキ)

○英語版展覧会ホームページ等 インバウンド入館者への対応

①春陽会展 3/16-5/12 ②池上秀畝展 5/25-6/30

③ダリ版画展 7/13-9/16 ④細見展 10/5-11/17

⑤NAMコレクション特集展示

⑥絵画表現の50年



善光寺表参道内看板

### 3. 連携・協力事業 鑑賞ツアー

「生誕150年池上秀畝 高精細画人」鑑賞日帰りバスツアー

伊那出身の画家、池上秀畝展の開催に合わせ、伊那発着の特別展覧会鑑賞ツアー企画に協力。

実施日：令和6年（2024年）5月28日（火）31名・6月9日（日）31名 計62名参加

内容：同展に関わった学芸員がバスに同乗し解説を行いながらツアーに参加。

当館到着後は当館学芸員が解説を行い、作家や作品についてより深く学び

鑑賞できる機会を提供した。参加者から、本ツアーのおかげで遠方でも

県立美術館を訪れる事が出来た等の感想があった。

主催：信毎ふれあいネット



オリジナルワイン「NAM」

### 4. その他事業

オリジナルワイン「NAM」の企画制作と関連イベント開催

信州たかやまワイナリーとの共同企画により

当館オリジナル白ワイン「NAM」を制作。

このワインをお披露目するイベントとして、令和6年（2024年）9月7日

「ランドスケープ・ミュージアム×風テラスワイン」を

屋上広場「風テラス」を会場に、特別にライトアップ

された善光寺を望みながら、令和3年（2021年）の当館リニューアル

オープン後初となる夜間イベントとして実施。参加人数約400名。

企画制作に携わった関係者のトークショーも行う等、美術館を楽しむ試みのひとつとして

新たな可能性の場を創出した。



会場風景

## 6 令和7年度 広報・マーケティング室 事業実施計画

### 1. ホームページ・SNSの運用

HPアクセス数・SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォ ロワー数	X(Twitter) フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTube チャ ンネル登録者 数
令和7 (2025) 年度	637,740	2,191	3,737	6,062	961

取材対応件数

新聞	テレビラジオ	雑誌・会報誌	Web SNS
29	18	14	32

プレスリリース配信数：11件

2025.4-6月

### 2. 展覧会広報

○企画展に連動したオリジナル商品の開発・拡充

- ・鈴木敏夫とジブリ展 善光寺と共同で制作 開催記念限定商品の販売  
御朱印帳、絵馬、トートバッグ、巾着袋、根付、手ぬぐい

絵馬



御朱印帳



トートバッグ



根付 3種類

- ・いきものの森展 コラボメニュー (準備中)
- ・東山魁夷館開館35周年記念展 オリジナル商品、和のコラボスイーツメニュー (準備中)

○善光寺表参道境内に案内看板設置

美術館へのアクセスや展覧会の周知を図るため、善光寺の協力をいただき、境内表参道に 企画展の看板を掲出している。



善光寺参道内看板 鈴木敏夫とジブリ展

### 3. インバウンド入館者への対応

ホームページ多言語化の充実と外国語パンフレットの作成。ホームページの外国語(英語・中国語)対応の改修と連動する外国語チラシを作成し、インバウンドの対応を進める。

### 4. 連携・協力事業

鑑賞ツアー 東山魁夷館開館35周年記念展 東山魁夷-永遠の海(会期 10/4-11/16)  
同展を鑑賞するバスツアーへの協力。主催は県内旅行事業者(信毎ふれあいネット他を予定) 県内(中南信・東信・北信)、県外(首都圏)の鑑賞ツアー造成を予定。

## 7 令和6年度施設等修繕実施状況

(単位：円)

区 分	修繕等の実施内容	金 額
建物関係	1 展示室2 移動壁動作不良調整修繕	138,600
	2 事務所出入口扉動作不良	162,800
	3 展示室3 移動壁動作不良調整修繕	138,600
	4 レストラン壁面塗装改修	892,227
	5 2階ブリッジ床照明シーリング工事	173,800
	6 館内防火扉修繕	936,573
	7 本館水景調査・修繕工事	330,000
設備・備品関係	1 本館空調機Vベルト交換修繕	114,400
	2 車両定期点検検査整備料（ヴィッツ）	103,470
	3 車両定期点検検査整備料（ファミリア）	122,683
	4 無停電電源装置バッテリー交換	297,000
	5 カフェロールスクリーン設置	204,314
	6 除雪機ホンダHS870 修繕	192,990
	7 自動ドアセンサー調整修繕	187,000
	8 エレベーター5号機インターフォン・非常用バッテリー交換	825,000
	9 エレベーター4号機インターフォンバッテリー交換	385,000
	10 エレベーター4号自動着床装置バッテリー交換	913,000
外構関係		
作品の修復	1 河野通勢「裾花川の川柳」修復	753,500
	2 ハリー・K・シゲタ作品展示用額修復作業	734,085
	3 収蔵品アクリル交換修繕	366,410
	4 池上秀畝「黄柳白鷺」修繕	22,000
その他小修繕 (1件10万円未満)	・ 建築関係修繕以下1件	46,860
	・ 設備関係修繕以下9件	366,260
	・ 備品関係修繕以下1件	35,080
合 計		8,441,652